

公表	児童発達支援事業所における自己評価総括表
----	----------------------

○事業所名	スタディスマイルきっず			
○保護者評価実施期間	R 8年 2月13日		～	R8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	R 8年 2月13日		～	R8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 2 8日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども1人1人に合わせた療育(個別・小集団・集団)に取り組んでいます。	日々、職員間で情報共有し、児童が取り組みしやすいよう細かく調整をしています。	今後も事業所内で研修を行い、職員全員がスキルアップしていけるよう体制作りを行います
2	土曜日にイベント(おやつクッキング・ランチクッキング・外出支援・アミティ舞洲利用・お買い物体験)で色々な経験をしてもらっています。	子ども達の状況に合わせて飽きることのないよう工夫しています。	イベントの内容を工夫して子ども達が興味をもち、取り組みやすいようにしていきます。
3	楽しく通所していただいています。	子ども達が楽しく過ごせるよう職員間で情報共有し、日々工夫しています。	子ども達により良い支援行えるよう工夫していきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族に対してペアレントトレーニングや家族へ向けての研修会が出来ていない	事業所内でペアレントトレーニングを実施しようとすると職員の技術と人員増員が必要となる。現時点では、子どもの療育をしっかりと行うことに力を入れています。	ペアレントトレーニングが出来る人材を育てていきたい
2	保護者会など家族が交流できる場を作ることが出来ていない	保護者間での交流を実現するにはマンパワーが必要となる	保護者間の交流が出来る体制づくりを考えたい
3	第三者委員会など外部機関を取り入れることが出来ていない	外部機関とつながれる体制作りができていない	外部機関とつながれる体制づくりを考えたい

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 スタディスマイルきっず

公表日 R 8年 3月 4日

利用児童数 10名

回収数 9名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	07	02			子どもが多いと少し狭そうに感じる日も ある。	規定の広さではありますが、子どもが多い日はそう 感じてしまうことがあります。密集してしまわない ように声掛けして、スペースの確保をしていま す。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	07			02		適切な人員を配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	09					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	09					
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	09					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	08			01		支援プログラムに沿った支援内容に取り 組んでいます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	09					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	08			01		ガイドラインの趣旨にのっとり、具体的 な支援内容を作成しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	08	01				状況に合わせて作成、支援しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	08			01		平日、集団プログラムは日替わりで取り組んでいま す。個別や小集団は子ども達の状況に合わせて日々 調整して取り組んでいます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	05		01	03	外出にでたことがないのでわからない。	年に一回、子ども部会のわいわいひろば (運動会)に参加しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	09					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	09					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	04		02	03	通所してそんなに経っていないのでその ような機会があるのかわからない。	ペアレントトレーニングは実施しておりません。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	09					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	07	01	01		お迎え時には必ずどのように過ごしたか 教えてもらい、ノートに書いていただ いています。	悩み事や困り事を相談頂いた際には助言 させていただいています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	09					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	05		02	02	保護者会があるのは聞いたことがない。	現在は実施していません。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○8			○1		随時、対応しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○9					
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○8			○1		毎月のお便りとイベント時はInstagramに載せさせていただいています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○9					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○6			○3	まだ通所回数も少なく訓練が実施されているかわからない。	マニュアルを策定し、職員間でも周知し、保護者さんへも周知できるよう、事業所入口にファイルを並べています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○6			○3	まだ通所回数も少なく訓練が実施されているかわからない。	年2回の避難訓練、子ども達と年1回防災センターで体験など実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○9					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○8			○1	そのような場面になったことがないので、わからない。	状況を確認し、速やかに保護者さんへ連絡、説明させていただいています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○9					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○9				楽しく通っています。通所日を楽しみにしています。	通所後も楽しく通所していただけるよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	○9				満足しています。いつもありがとうございます。	今後も満足していただけるようより良い支援に努めます。

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		スタディスマイルきっず		公表日		R 8年 3月 4日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○9		子ども達が安全に楽しく活動できるように工夫しています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○9		適切な人員を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○9		入口に段がありますが、スタッフと手をつないでや、声をかけています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○9		毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気を付けています。常時、空気清浄機をつけ、加湿器も設置しています。活動スペースは多目的に使用できるようにしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○9		個別が必要な時は、パーティションを使用したり、事務室を使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○9		月1回の職員ミーティング、毎朝のミーティングで改善・内容の確認を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○9		業務改善につなげていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○9		ミーティングや個別で話し合い、業務改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○9	相談員さんの来所時や、児童さんに変化があった場合、ご意見やご指導を頂くようにしています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○9		内部研修を行っています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○9		ガイドラインに沿って作成し、事業所の中、法人HP、Instagram、で公表させていただいています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○9		年1回のアセスメント更新、保護者さんからのニーズ・利用時の様子を元に計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○9		原案作成後に支援会議を行い、職員みんなで意見を出し合い児童一人一人にあった支援が出来るよう取り組んでいます。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○9		支援計画書を元に職員みんなで療育計画をたて、支援に取り組んでいます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○9		S-M社会生活能力検査をアセスメントツールとして使用しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○9		ガイドラインの趣旨にのっとり、具体的な支援内容を作成しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○9		全体と個別で創意工夫しています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○9	平日、集団プログラムは日替わりで取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○9	状況に合わせて作成、支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○9	ミーティング等で確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○9	終了後にも情報共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○9	個人記録を作成し定期的に評価・見直しを行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○9	定期的に（6カ月に一度）にモニタリングを行っています。変化があった場合はその都度見直しを行っています。	
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○9	児童発達支援管理責任者が参画しています。
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○9	必要に応じて連携をとっています。	
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○9	必要に応じて、お迎えの際に情報共有をしています。	
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○9	必要に応じて、情報共有をしています。	
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
30		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
31		(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○9		必要に応じて連携をとれるよう進めていきたいです。
32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○9		年に1回子ども部会のわいわいひろば（運動会）に参加しています。
33		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○9	連絡帳や送迎時などに保護者さんと情報共有を図っています。	
34		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○9	面談時や連絡帳で子どもの特性にあった生活面や学習面への具体的なアドバイスはさせていただいています。	ペアレントトレーニングは検討中です。
35		運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○9	契約時にご説明させていただいています。	
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○9	面談時や、書面でご要望を確認させていただいています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○9		作成時に説明、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○9		悩み事や困り事を相談頂いた際には助言させていただいています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○9		検討中です。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○9		随時、対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○9		毎月のお便り、日々の様子やイベントはInstagramに載せさせて頂いています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○9		十分に注意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○9		個々に合わせた伝達方法で情報共有に努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○9		故人情報の関係から進められていませんが引き続き検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○9		マニュアルを策定し、職員間で周知し、年2回の避難訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○9		年2回の避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○9		利用契約時に確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○9		個別対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○9		毎月安全計画を作成し安全管理しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○9		保護者さんへ安全計画の周知はまだできていません、どのように周知していくか検討中です。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○9		ヒヤリハット、事故報告書は別途ファイルを作成し、情報共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○9		内部研修を年1回実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○9		現在、身体拘束が必要な児童さんは利用されていませんが、行う場合には、サービス計画にも記載し、その都度提供記録だけでなく保護者さんへ連絡いたします。	

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	スタディスマイルきっず		
○保護者評価実施期間	R 8年 2月 13日		~ R 8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	R 8年 2月 13日		~ R 8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	R 8年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども1人1人に合わせた療育(個別・小集団・集団)に取り組んでいます。	日々、職員間で情報共有し、児童が取り組みしやすいよう細かく調整をしています。	今後も事業所内で研修を行い、職員全員がスキルアップしていけるよう体制作りを行います
2	土曜日にイベント(おやつクッキング・ランチクッキング・外出支援・アミティ舞洲利用・お買い物体験)で色々な経験してもらっています。	子ども達の状況に合わせて飽きることのないよう工夫しています。	イベントの内容を進化させていきます。
3	楽しく通所していただいています。	子ども達が楽しく過ごせるよう職員間で情報共有し、日々工夫しています。	子ども達により良い支援行えるよう工夫していきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族に対してペアレントトレーニングや家族へ向けての研修会が出来ていない	事業所内でペアレントトレーニングを実施しようとすると職員の技術と人員増員が必要となる。現時点では、子どもの療育をしっかりと行うことに力を入れています。	ペアレントトレーニングが出来る人材を育てていきたい
2	保護者会など家族が交流できる場を作ることが出来ていない	保護者間での交流を実現するにはマンパワーが必要となる	保護者間の交流が出来る体制づくりを考えたい
3	第三者委員会など外部機関を取り入れることが出来ていない	外部機関とつながれる体制作りができていない	外部機関とつながれる体制づくりを考えたい

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 スタディスマイルきっず

公表日 R 8年 3月 4日

利用児童数 9名

回収数 9名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	○7			○2		規定の広さはありませんが、子どもが多い日はそう感じてしまうことがあります。密集してしまわないように声掛けして、スペースの確保をしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	○7			○2		適切な人員を配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	○9					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	○9					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○9					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	○9					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	○9					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○9					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○9					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	○9					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	○7				○2	年に1回、子ども部会のわいわいひろば（運動会）に参加させていただいています。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○9					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○9					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	○6		○1	○2		ペアレントトレーニングは実施していません。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	○9					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○9					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○9					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	○4	○1	○2	○2		現在は実施していません。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○9					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○9					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○9					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○6			○3		マニュアルを策定し、保護者さんへも周知できるよう、事務所入り口にファイルを並べています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○5	○1		○3		年2回の避難訓練、子ども達と年1回の防災センターで体験など実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○9					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○9					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○9					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○8	○1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	○9				いつもありがとうございます。	今後も満足していただけるよう、より良い支援に努めます。

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		スタディスマイルきっず				公表日	R 8年 3月 4日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○9		子ども達が安全に楽しく活動できるように工夫しています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○9		適切な人員を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○9		入口に段がありますが、スタッフと手をつないでや、声をかけています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○9		毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気を付けています。常時、空気清浄機をつけ、加湿器も設置しています。活動スペースは多目的に使用できるようにしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○9		個別が必要な時は、パーテーションを使用したり、事務室を使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○9		月1回の職員ミーティング、毎朝のミーティングで改善・内容の確認を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○9		業務改善につなげていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○9		ミーティングや個別で話し合い、業務改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○9	相談員さんの来所時や、児童さんに変化があった場合、ご意見やご指導を頂くようにしています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○9		内部研修を行っています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○9		ガイドラインに沿って作成し、事業所の中、法人HP、Instagram、で公表させていただいています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○9		年1回のアセスメント更新、保護者さんからのニーズ・利用時の様子を元に計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○9		原案作成後に支援会議を行い、職員みんなで意見を出し合い児童一人一人にあった支援が出来るよう取り組んでいます。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○9		支援計画書を元に職員みんなで療育計画をたて、支援に取り組んでいます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○9		S-M社会生活能力検査をアセスメントツールとして使用しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○9		ガイドラインの趣旨にのっとり、具体的な支援内容を作成しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○9		全体と個別で創意工夫しています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○9	平日、集団プログラムは日替わりで取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○9	状況に合わせて作成、支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○9	ミーティング等で確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○9	終了後も情報共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○9	個人記録を作成し定期的に評価・見直しを行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○9	定期的に（6カ月に一度）にモニタリングを行っています。変化があった場合はその都度見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○9	子ども達を尊重して支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○9	子ども達とコミュニケーションをとり、自分の気持ちを伝えられるよう支援しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○9	児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○9	必要に応じて連携をとっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○9	お迎えの際に情報共有をしています。必要に応じて、電話連絡させていただいています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○9	必要に応じて、情報共有をしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○9	移行先の事業所等からのご要望に合わせて提供させていただきます	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○9		必要に応じて連携が取れるよう進めていきたいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○9		検討中です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○9	子ども部会への参加させていただいています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○9	連絡帳や送迎時などに保護者さんと情報共有を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○9	ご家族さんが参加できる研修会など、情報提供させていただいています。	ペアレントトレーニングは検討中です。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○9	契約時にご説明させていただいています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○9	面談時や、書面でご要望を確認させていただいています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○9	作成時に説明、同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○9		悩み事や困り事を相談頂いた際には助言させていただきます。ありがとうございます。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○9		検討中です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○9			随時、対応しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○9			毎月のお便り、日々の様子やイベントはInstagramに載せていただいています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○9			十分に注意しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○9			個々に合わせた伝達方法で情報共有に努めています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○9		個人情報の関係から進められていませんが引き続き検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○9			マニュアルを策定し、職員間で周知し、年2回の避難訓練を実施しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○9			年2回の避難訓練を実施しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○9			利用契約時に確認しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○9			個別対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○9			毎月安全計画を作成し安全管理しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○9			保護者さんへ安全計画の周知はまだできていません、どのように周知していくか検討中です。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○9			ヒヤリハット、事故報告書は別途ファイルを作成し、情報共有しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○9			内部研修を年1回実施しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○9			現在、身体拘束が必要な児童さんは利用されていませんが、行う場合には、サービス計画にも記載し、その都度提供記録だけでなく保護者さんへ連絡いたします。	